愛知県ハンガリー友好協会会報

２０１１年新春号

Boldog　Új　Évet　Kívánok!

　明けましておめでとうございます。
今年も皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。
　さて、新年にあたりハンガリーに留学していらっしゃる久野絵美さんと大塚奈美さんからメッセージが送られてきましたのでご紹介させていただきます。

《 留 学 記 》

久野絵美（リスト音楽院）

リスト音楽院

Boldog　új évet! 新年明けましておめでとうございます。ハンガリーリスト音楽院に留学して 1 年半、2 回目のお正月をブダペストで迎えることができました。
こちらは今、毎日 0 度前後、真っ白な雪景色で、暖かな愛知県出身の私からは想像もできない世界です。こんな中、かねてから師事したかった先生のもと日々ピアノの研鑽に励んでいます。今の季節、リスト音楽院でのレッスンや授業のほか、「こうもり」や「くるみ割り人形」といったオペラやバレエ、ニューイヤーコンサートにも足を運んでいます。このような本場ヨーロッパの音楽が、学生はなんと 150 円前後でチケットが買えるので、とてもよい環境です。本当にこちらに来てから、ピアノを弾くというだけではなく、他の音楽を聴いたり、美術や建物をみたり、散歩をふらっとしてみるだけで、なにか自分の音楽が変わるように感じます。
私はこの留学生活が初めての 1 人暮らしで、1 年目は本当に生活に慣れるのが大変でした。アパートの電気や水まわりが壊れてし

ファルバイ先生のご自宅にて

クリスマス飾りのイシュトバーン大聖堂前

まったり（ハンガリーの建物は古いので、皆さん一度は経験されるそうです！）、すべてが初めてだったのでどうしたらいいのかわからない中、大家さんや友人に助けられたことが多々あり、人と人との関わり合いがとても温かく感じられました。また私は留学前に愛知県ハンガリー友好協会の語学講座を、チーラ先生のもと約半年間学んだのですが、その経験がこちらでの生活にとても助けになりました。

大家さんとの会話や市場での買い物など、生活にすぐハンガリー語が必要だったので、日本で学べる場があり本当によかったと思いました。

また反対にハンガリーで日本語を学ぶ学生との交流もあり、今まで日本にいては気づかなかった日本の良し悪しや私たちの考え方など、改めて気づかされました。それに遠く離れたハンガリーにおいて、多くの人が日本に興味をもち、そして私も日本の文化に触れられることをうれしく思います。

Vörösmarty tér のクリスマス市の様子

ハンガリーの大晦日は日本と違い、友達や多くの人と集まり、仮装や紙のラッパを用意してにぎやかに過ごします。そして新年と同時にドナウ川沿いや広場で花火が打ち上げられ、お祝いします。日本の厳かでゆったりとしたお正月とは対照的ですが、新年希望を新たにしてがんばろうという気持ちになります。ときどき日本が恋しくなるときはありますが、そんなときに日本から届く祖父の絵手紙や家族の話を聞いて、ほっと和みます。

現在工事中のリスト音楽院大ホールさよならコンサート

さらに今年はリスト生誕 200 年のメモリアルイヤー、こちらで充実した時間が過ごせるようこれからも精進したいと思います。

芸術宮殿バルトークホール

《 ご 挨 拶 》

大塚奈美（セゲド大学人文科学部民族学文化人類学専攻）

あけましておめでとうございます。

昨年は、ハンガリーフェスティバルをはじめ、各種事業にて誠にお世話になりました。改めて御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、私は昨年 10 月より日本を離れ、ハンガリーのセゲドを拠点に、民俗舞踊の研究を継続しております。近況として、セゲドとトランシルヴァニアでの状況を以下のとおりご報告します。

◆セゲド

セゲドはティサ川の両岸に広がる南ハンガリーの学術都市で、外国からの留学生も大勢います。私の所属先のセゲド大学には、舞踊人類学講座があります。これは前回の留学時にはまだ開設されていなかった新しい講座です。ブダペストのハンガリー科学アカデミー音楽学研究所でもお世話になっていた、舞踊研究の第一人者、フェルフェルディ・ラースロー博士もここで教鞭をとっておられ、その縁で、総合研究大学院大学在学時にも一度海外派遣で訪問しました。また、助教のヴァルガ・シャーンドル氏とは、前回のブダペストのエトヴェシュ・ロラーンド大学留学時に博士課程の授業で知り合い、今回、住居探しなど、渡航前からいろいろな便宜を図っていただきました。セゲドでの生活は初めてですが、このように、周囲の人に恵まれ、新しい生活を始めることができました。

セゲド大学図書館

下宿先はセゲド都心のドーム広場のすぐ近くで、大学へも歩いて 10 分程、図書館もすぐ近くにあり、とても便利です。隣に住んでいる家主ご夫妻も民俗舞踊に携わっており、とても親切にしてくださっています。

セゲドのターンツハーズは若者が多数派

大学では民俗舞踊関係の授業をいくつかとハンガリー語の授業を聴講していますが、博士論文を書き進めることが最大の課題です。久しぶりの単身生活・研究中心の生活です。6 月まで、決して長くありませんが、集中して取り組みたいと思っています。

◆トランシルヴァニア

クリスマス前夜の聖歌行列の接待

民俗舞踊を通した、ここ数年の日本との文化交流活動が少しずつ認められてきました。11 月初旬にはクルージュ・ナポカ市で行われた日本文化祭にも参加し、その様子は新聞やテレビでも紹介されました。また、ラジオにも出演しました。

クリスマスには、日本やヨーロッパからの参加者を迎え、恒例の文化体験プログラムを実施しました。今回は、特に多くの方にご参加いただきました。クリスマスの聖歌行列やお菓子作り体験、国際交流イベント「日本文化の夕べ」、豚の解体・ソーセージ作り、セークへのバス遠足、演奏家を迎えての年越しなど豊富なプログラムで、充実した年末年始を過ごすことができたと思います。私たちの文化体験プログラムには、今のところ、日本での民俗舞踊講習会の参加者の方や、ハンガリー語学習者の方などが参加してくださっています。

演奏家を迎えての年越しパーティー

今回は親子での参加者もあり、各世代でそれぞれの楽しみ方をしていただけたようです。また、今回に限らず、初対面でも、生活を共にすることによって、帰るまでには参加者同士がとても仲良くなれるのも、この企画の特長かと思っています。今後も春休み、ゴールデンウィーク、夏休みなどに企画する予定ですので、ぜひご参加ください。概要はサイトに掲載予定です。詳細はお問合せください。活動報告等、随時ブログでも行いますので、お時間のある方はぜひご覧ください。

ソーセージ作り

豚の解体

サイト　https://sites.google.com/site/cifrakalotaszeg/home
ブログ　http://cifrakalotaszeg.blogspot.com/
メール　cifrakalotaszeg@gmail.com
電話　（ハンガリー）+36302342829　（ルーマニア）+40749262182

◆トランシルヴァニア移住・別荘購入をお考えの方へ

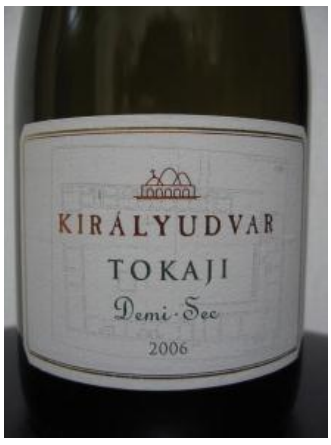
トランシルヴァニア・カロタセグのボガールテルケに、入居者を募集中の家があります。写真は以下のリンクよりご覧いただけます。詳細については上記連絡先（大塚）までお問合せください。
http://www.facebook.com/album.php?aid=29930&id=100000931482594&l=3626cd1e49

《ハンガリーワイン（15）-本物をもとめて－》

伊藤憲昭（大仲さつき病院医師）

日本で「本物」のハンガリーワインを楽しめるのか？「本物」という定義が曖昧ではあるが、とにかく日本への輸送・保管の段階でワインが劣化してしまえば「本物」とは言えまい。そんなことを常に心配してきたのだが、今回は違う。ワイン専門の（株）エノテカからの取り寄せ。この会社の商品は、フランスの有名ワインを中心に、高級・優等生的ワイン路線が特徴。そこにハンガリーのワインが何故か１本だけ紛れているのを発見した。
「本物」には更に、「土着品種の使用」も求めたい。今回は白ワインで、Furmint 70%. Hárslevelű30%.. と土着品種が使用されている。この品種の使用はトカイの貴腐ワインにも見られるが、今回のワインには貴腐（＝カビ）は混入していない。ところで、白ワインで大切なのは「酸味」である。酸味がないワインは熟成しないし、第一しまりが無い。その酸味を構成するのが Furmint であり、甘口のトカイ貴腐ワインが単に甘いだけでなく「酸味」が強いのも、この品種のため。一方、Hárslevelű は栗を連想させるような、まろやかさを演出する。

さて、今回のワインの生産者は Királyudvar（＝王宮庭園／宮廷荘園）。畑はハプスブルグ王家のかつての所有地。マネージャーとしてトカイワインの神様 Szepsy István 氏を迎え（後年に離脱）、アメリカ人のビジネスマン Anthony Hwang 氏の投資を受ける。Anthony 氏は、他にもフランスのロワーヌ地方 Vouvray の Domaine Huet という大変に格式高いワイナリー（ここでも甘口ワインは生産）も所有していている（Demi Sec＝半辛口 とフランス語表記も、そのためだろうか）。要は、舞台と役者が超豪華に揃っているのだ。
Tokaji のワインは外国資本に依存している醸造所が多いな・・・とも思うのだが、それは別次元の話。



2006 Tokaji Demi Sec/Királyudvar/Tokaji/11.8%voL/
(株)エノテカ/5040 円

鮮やかな、レモン果皮の黄色や麦ワラ色。足は早く疎に涙。
リンゴの青い果皮の香。栗、ナッツ香。仄かに auvignonBlanc 的な青い香。
やさしい酸味に、ふくよかな甘味。酸はレモン系で口がキュッとなる収斂性があり秀逸で、清涼感を伴い最後まで伸びる。果実味はレモン系柑橘、リンゴ果汁。蜂蜜や栗の甘味もシッカリしているが、決してベトつかず。
酒質にはコクがあり、石灰系のミネラルを感じる。グレープフルーツ的な苦味。鼻腔に抜けるは、リンゴと蜂蜜、梅酒の梅。
品質と保存状態ともに保証できるハンガリーワイン。
これを呑めば、ハンガリーワインの評価が変わるだろう。他国の白ワインとも堂々と張り合える品質である。であるが、価格が強気であろう、とも思う。

《グヤーシュスープでクリスマス会》

昨年末 12 月 12 日(日)10:00～名古屋国際センター3F 第 1 研修室でハンガリー料理を作ってクリスマス会を行いました。指導は今回もマトゥシュ・ロランドさんです。メニューはグヤーシュスープとマーコシュ グバ。参加者は、会員のほか、ロランドさんのお友達、岡崎のハンガリー語三苫クラスの皆さん。大人 31 人子供 8 人ととても賑やかなパーティーになりました。

グヤーシュを作るロランドさん　手前はマーコシュグバ

ピック社提供のサラミでリース

お花とツリーでテーブルセッティング

子供たちも飾り付けをしました

はやく食べたいよ～！

マーコシュグバ　　パン　　サラミ　ワイン

グヤーシュスープ

顧問の丹澤さんの乾杯

小さなお子様からご年配の方まで、ご家族、ご夫婦でのご参加。ハンガリー談義は尽きなく、とても和やかな素敵なクリスマスパーティでした。

《犬山市フロイデまつり参加》

2 月 27 日(日)AM10：00～PM4：00 犬山国際観光センター「フロイデ」で行われる“フロイデまつり”でハンガリーの物産を販売いたします。ビーズのネックレス、クルミの人形、ポガーチャ、ワイン、サラミなど。皆様是非お立ち寄りください。

《コンサート紹介》（チラシ同封）

Cimbalm×齊藤浩－ツィンバロンの魅力、その民族性と現代性－

一昨年のハンガリーフェスティバルで演奏していただいたツィンバロン奏者齊藤浩さんのコンサートです。ハンガリーの作品に加えて、ＮＨＫ教育テレビＮ響アワー(日曜日夜 9 時)でおなじみの西村朗先生がツィンバロンのために作曲された新作が演奏されます。

日時：4 月 22 日(金)19：00 開演
場所：ザコンサートホール(名古屋・伏見・電気文化会館)
プログラム：ハンガリー民謡／G.クルターク：8 つのデュオ／
A. ペク：ソネットⅣ／
西村朗：ツィンバロンのための新作　他
共演：冨田智容子（Pf・会員）中島慎子（Vn）
チケット：3,500 円→3,000 円
（当協会会員特別価格で事務局にて取り扱っています。）